

連
続
講
座

働く大人の週末ゼミ

ischool × 図書館

生駒の図書館で新しい刺激を

まだ見ぬ

葛屋重三郎

上質な学びと大人の交流の場、働く大人の週末ゼミ。第二弾のテーマは、大河ドラマでも話題の「葛屋重三郎」。江戸のメディア王と称され、多くの浮世絵師を世に送り出した葛重にフォーカスします。職場と家庭だけでは得られない新しい刺激を、週末の図書館で。

全5回

参加費無料

📍 生駒市図書館 1F 図書館

🕒 19:00 ~ 21:00

第1夜 7/4 (金) 江戸のメディア王・葛屋重三郎の仕事

第2夜 8/1 (金) 葛重がプロデュースした浮世絵師たち

第3夜 9/5 (金) 北斎が描いた江戸の病

📍 生駒市図書館 3F 市民ホール

🕒 14:00 ~ 16:00

第4回 9/20 (土) 今に生きる江戸の“粋”

第5回 10/4 (土) 耕書堂から続く本屋のミライとカタチ



お申込み
詳細はこちら



働く大人の週末ゼミ

参加費無料

(全5回)

📍 生駒市図書館 1階 図書館 (定員 40名)

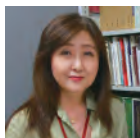
🕒 19:00 ~ 21:00 (開場 18:30)

📍 生駒市図書館 3F 市民ホール (定員 100名)

🕒 14:00 ~ 16:00 (開場 13:30)

第1夜 7/4 (金)

江戸のメディア王・葛屋重三郎の仕事



大阪公立大学
文学部教授
菅原真弓さん

2025 年大河ドラマの主人公・葛屋重三郎は俗に「江戸のメディア王」と呼ばれます。一代にして自らの店舗・耕書堂を起し、浮世絵を代表する2人の著名な絵師、喜多川歌麿と東洲斎写楽を世に送った葛屋重三郎 (通称「葛重」) の戦略について語ります。

第4回 9/20 (土)

今に生きる江戸の“粋”

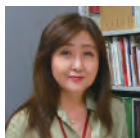


株式会社より善
代表取締役社長
亀井彬さん

古の時代から脈々と進化してきた着物の柄。特に江戸時代に花開いたデザインは現代の着物にも受け継がれています。中でも浴衣の柄にはお江戸の粋が込められています。江戸と京都の比較も交えながら、今に生きる着物の“粋”をお話します。着物の奥深い世界を少しでも多くの方にお伝えできればと思います。

第2夜 8/1 (金)

葛重がプロデュースした浮世絵師たち



大阪公立大学
文学部教授
菅原真弓さん

日本美術史上での評価とは別に現在もなお、最も著名な「日本美術」と考えられているのが浮世絵版画です。葛重がプロデュースした喜多川歌麿と東洲斎写楽をはじめ、「HOKUSAI」の名前よりも先に受容された北斎イメージなど浮世絵師について、特徴についてお話しします。

第5回 10/4 (土)

耕書堂から続く本屋のミライとカタチ



TSUTAYA
梅田店店長
書肆汽水域創業者
北田博充さん

書店ゼロの自治体が約 27%、書店数が20 年前の約半数に減少、といったネガティブなニュースをよく目にしますが、独立系書店やユニークなコンセプトの書店は年々増えています。江戸時代から令和に至るまで連綿と続く「本屋」という商いは、今後どのようなカタチになっていくのか。最新の出店事例も踏まえながら考えます。

第3夜 9/5 (金)

北斎が描いた江戸の病



奈良女子大学
特任教授
鈴木則子さん

江戸時代、疫病を題材にした草双紙 (小説本)、浮世絵、狂歌などが多くつくられました。このように危機でも娯楽を楽しむ江戸庶民の底力について、また葛重が発掘した天才画家葛飾北斎が描いた絵を通して、江戸時代の病事情についてお話したいと思っています。

申込み・お問合せ

市ホームページか電話で
生駒市図書館まで

☎ 0743-75-5000

直接市内5図書館・室でも受付



お申込み
詳細はこちら

会場 MAP

📍 生駒市図書館

近鉄奈良線東生駒駅から北へ約 700m
奈良交通バス「生駒市図書館前」
公共交通機関をご利用下さい

